

## チェックリスト No.1 ~ 26

大項目	中項目	小項目	No.	チェック項目	Check	
① BCP ガイドラインの位置づけ	ガイドラインの目的・使い方・対象リスクを理解して活用しましょう					
② 災害に対する基本方針		<共通>安全配慮義務	1	事業継続方針等で人命の安全確保を最優先とすることを明記している。	<input type="checkbox"/>	
③ BCP 作成に当たって			2	災害発生時であっても安全配慮義務が求められることを念頭に、各種判断・指示にあたり、従業員等の安全確保を考慮した判断基準や対応手順が定められている。	<input type="checkbox"/>	
③ 事業継続戦略の作成		経営トップの関与、BCM体制の構築	3	事業継続計画（BCP）の策定には経営層が積極的に関与している。	<input type="checkbox"/>	
④ 平時からの備え	1. 被害想定	立地リスクの適切な把握（重ねるハザードマップの使い方、JSHISの使い方）	4	自社拠点毎に想定される自然災害リスク等を把握している。	<input type="checkbox"/>	
			5	自社拠点で懸念されるリスクを特定し、自社の主要リソースの被災想定を把握している。（出社可能性、建屋、建屋内部、生産設備、ユーティリティ、通信、情報、システム等）	<input type="checkbox"/>	
		被災想定に基づく減災対策の実施		6	人命安全確保の観点から、被災想定に基づき減災対策に取り組んでいる（建屋耐震化、重量のある設備や避難通路付近の設備の固定など）。	<input type="checkbox"/>
				7	事業復旧の観点から、被災想定に基づき減災対策に取り組んでいる（地震であれば生産設備の固定、配線・配管等の補強、有害物質等の漏洩対策、水災であれば止水板の設置など）	<input type="checkbox"/>
				8	金型の減災対策として、金型置き場（ラック）等の固定、落下防止バーの設置、図面データのバックアップ等を行っている。	<input type="checkbox"/>
				9	重要業務に紐づくシステムのバックアップを行っている。	<input type="checkbox"/>
				10	自社の製品生産の設計にかかわる情報（データ、図面、工程表等）のバックアップを行っている。	<input type="checkbox"/>
				11	停電した場合に備え、避難および待機用の照明などと、緊急対策本部等の機能を維持するための必要最低限の電源を確保している。また、必要な燃料等が確保されている。	<input type="checkbox"/>
				12	対策本部以下、復旧活動実施チームメンバーの緊急時の連絡先一覧を作成し共有している。	<input type="checkbox"/>
				13	地震発生時の個人の対応（自己の安全を確保するための行動）を、置かれた環境（事務棟オフィス、生産現場等）に応じて明確化している。	<input type="checkbox"/>
	14			風水害の到来が予測される場合の事前の実施事項（気象情報の取得、物的被害の軽減手順、避難の実施基準等）を時間軸で整理している。	<input type="checkbox"/>	
	15			自衛消防組織（職場防災隊）を組織し、初期消火、避難誘導、連絡通報、応急救護等の役割を定め、周知している。	<input type="checkbox"/>	
	16			リモートで情報の収集・共有・判断・指示が可能な仕組みを構築している。	<input type="checkbox"/>	
	17			一般回線や携帯電話網が使用不可能になった場合でも、自社の拠点間で通信・連絡できる手段を整備している。	<input type="checkbox"/>	
	18	早期に復旧すべき重要業務や重要製品の優先順位が明確になっている。	<input type="checkbox"/>			
	19	重要業務や重要製品について、目標復旧時間を定めている。	<input type="checkbox"/>			
	2. 被害の分析と対応検討	重要業務を支えるリソースの把握	20	重要業務の継続に必要なリソース（人、建屋、設備、部品・原材料、システム等）を洗い出し、特定している	<input type="checkbox"/>	
			21	重要業務の継続に必要な部品・原材料等の取引先（素材メーカー等）を把握している。	<input type="checkbox"/>	
			22	重要な製品納入および重要な部品・原材料の入荷を行う物流業者について、災害発生時の対応を具体的に検討している（輸送キャパシティの優先割当、車両被災時の代替車両確保可能性など）。	<input type="checkbox"/>	
			23	緊急事態の際の、取引先や顧客との連絡・調整の方法および支援に関する事項が予め取り決められている。	<input type="checkbox"/>	
			24	平時より顧客の事業継続計画（BCP）の情報を収集している。（目標復旧時間など）	<input type="checkbox"/>	
			25	被災時における設備業者（工場の設備の修理業者）について、通常の委託先が使用できない場合に他の業者に頼める体制を整えている。	<input type="checkbox"/>	
			26	被災時に会社の存続・復旧活動に必要な資金を把握し、調達できる体制を整えている。	<input type="checkbox"/>	

## チェックリスト No.26 ~ 48

大項目	中項目	小項目	No.	チェック項目	Check	
④ 平時からの備え	2. 被害の分析と対応検討	代替リソースを用いた業務継続策の検討	27	上記20で洗い出されたリソースについては、それが活用不可能となった場合の対応を「代替策」を検討している。	<input type="checkbox"/>	
			28	本社が被災した場合を想定して、本社機能を代替する拠点が明確になっている。	<input type="checkbox"/>	
		ボトルネックの把握→経営による意思決定→事前対策(減災対策、中長期の代替資源確保)	29	製品が複数の拠点で生産可能な体制になっている。	<input type="checkbox"/>	
			30	部品・原材料等の取引先が特定の地域に依存しないよう、取引先の地域的な分散を図っている。	<input type="checkbox"/>	
		水平連携、垂直連携	31	重要業務の早期復旧策の検討にあたっては、顧客や取引先等との連携も視野に、平常時から取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>	
	4. 対策本部、即応メンバー	対策本部の対応	32	緊急事態の際には、迅速に情報の収集、共有、判断、指示等を行う緊急対応組織(例:対策本部体制等)が立ち上がるとともに、社内の関係組織との連絡・調整が行えるようになっている。	<input type="checkbox"/>	
			33	緊急事態の際には、社外の関係組織との連絡・調整が行えるようになっている。	<input type="checkbox"/>	
			34	上記緊急時対応組織の主要メンバーについて代行者を明確化している。	<input type="checkbox"/>	
		代替対策本部の設置	35	対策本部等の設置予定場所が機能しない場合に備えて設置場所を複数定めたり、他の拠点等で代替対策本部を立ち上げるなどを明確化している。	<input type="checkbox"/>	
	5. 初動対応、避難、安否確認方法、災害備蓄、帰宅困難対策等	初動対応の手順書	36	初期消火、避難誘導、連絡通報、応急救護等の初動対応の手順書を整備し、周知している。	<input type="checkbox"/>	
		避難	37	発災時の避難場所および避難手順を決めて、周知している。また、避難の判断者も決めている。	<input type="checkbox"/>	
		安否確認	38	従業員の安否確認の仕組みが構築されている。	<input type="checkbox"/>	
		対策本部の対応	39	帰宅判断基準や帰宅者への対応事項を明確化している。	<input type="checkbox"/>	
			40	帰宅困難者への対応事項(備蓄品等の配布手順や配布物等)を明確化している。	<input type="checkbox"/>	
			41	出社可否についての判断基準(本人・家族の無事、経路の安全等)を決めて、周知している。	<input type="checkbox"/>	
			42	地域住民への対応方針(構内への避難可否等)を定めている。	<input type="checkbox"/>	
		備蓄品	43	緊急対策本部人員、初期の復旧対応人員および帰宅困難者等用の備蓄品(簡易トイレ、飲食料、毛布等)を整備している。	<input type="checkbox"/>	
	6. 啓発、教育、訓練、運用体制	教育/訓練の実施	44	初期消火訓練、避難訓練、安否確認訓練などの実動訓練を実施している。	<input type="checkbox"/>	
			45	初動・事業継続(現地復旧・代替生産など)対応の一連の事項に習熟するような机上訓練(状況付与型訓練等)を実施している。	<input type="checkbox"/>	
	⑤ 災害発生時の初動から復旧活動	当項目は災害発生時の実際の具体的なアクションを記載しています。⑤の解説内容を確認した上で、「④ 平時からの備え」が十分に検討・検証されているか、確認しましょう。				<input type="checkbox"/>
	⑥ 事後、検証と改善・記録	3. 課題の明確化、Topへの提言、改善	課題の洗い出しと経営層への報告	46	有事の初動対応、暫定復旧、本格復旧後に、下記を見直す体制やしゅみができている。 (1)人、モノ、金、情報 (2)お客様要求を満たした復旧時間	<input type="checkbox"/>
				47	事業継続に関わる課題を定期的に洗い出し、マネジメントレビューなどで重要な課題を経営層に報告し、解決している。	<input type="checkbox"/>
⑦ 感染症			48	感染症が発生した場合の実施事項(感染予防策、感染予防に資する勤務形態、業務の縮退、重要業務の継続策等)を、感染症の発生段階等に応じて時間軸で整理している。※海外で発生している感染症については、感染性・感染拡大の状況について留意する。	<input type="checkbox"/>	